

あなたがここにいるから・・・

6月も半ばを過ぎ、梅雨まっただなかです。雨の日の雪小っ子は、お昼休み、体育館で学年問わず、仲良く遊んでいます。ときには全員遊びに興じることもあります。

一方、校舎内では、図書室から借りた本を読みふけっている姿も見られます。

雨の日は雨の日なりの楽しみ方を身に付けているようです。

5・6年生がいない2日間…。

16日、梅雨の貴重な晴れ間をぬって、本校5・6年生が野外宿泊に出かけました。

梅雨入りしてしばらくは雨の日が続いていましたが、本校野外宿泊の2日間の天気予報には、奇跡的に「晴れ」のマークが輝いています。

しかも、5・6年生11名全員での参加。

これまで事前学習に懸命に取り組んできた様子を見てきただけに、私もたいへんうれしかったです。

とは申しながらも…。

PTA 総会の折にもふれましたが、私が赴任して以来、5・6年担任の大淵先生とは、どちらが、いわゆる「雨〇〇〇」なのか、お互いに、そのあまりうれしくない称号を相手に押し付けてきた間柄でありまして、今回の主担当は大淵先生で、私は、学校で留守番。決着がついてしまったのかなと…。

当日の朝、青空の下で行われた出発式、私に向ける大淵先生の表情は、多少勝ち誇っているようにさえ感じられました。(笑)

出発式では、1年生から4年生のみなさんでお見送りをしました。



自分たちで式を進行する5・6年生の姿を、憧れのまなざしで見ると、1・2年生の表情がとても印象的でした。

5・6年生がいない2日間は、少し寂しい雪小でしたが、その分、4年生が頑張ってくれました。普段間近で見っていた5・6年生の活躍する姿を、わずか2日間ではありますが、自分たちが担うことで、これもまた貴重な学びとなったことでしょう。

翌日、学習を終えた5・6年生が帰校しました。戻ってきた5・6年生も、出迎える下級生も、みんな嬉しそうでした。その様子を見ながら思いました。

「雪小は、小さな学校じゃなくて、大きな家族みたいだ」と。

自分みがきのパワーアップタイム!

雪小では、今年も週に3回、中休みの時間を活用した「パワーアップタイム」を設定しています。



2時間目が終わるやいなや、子供たちはランチルームに集まり、国語と算数の課題に取り組みます。

普段は仲良く、和気あいあいと学習に取り組む雪小っ子も、この時間は、一人一人が各人の課題に集中します。

私も含め、全職員でそれを見守り、必要に応じて個別に指導に当たります。

この取組こそ、まさに、「全職員ですべての子供を育む」ことを大切にしている、本校ならではの教育活動の一つであり、15分という限られた時間ではありますが、もくもくと集中して取り組む子供の姿は、雪小の自慢でもあります。

今月末の教育週間を利用し、ぜひともその様子をご覧いただければと思います。

(文責 校長)